

目 次

1. 平成 26 年度例会・懇親会のご案内
2. 規約改定について
3. 広島大学の教育事業に本年度も参加しています
4. マスターズが企画・共催の「東広島市民講座」が始まっています
5. ちゅーピー カルチャーセンターに講師派遣をしています
6. その他

1. 平成 26 年度例会・懇親会のご案内

本年度の例会として、「豊潮丸による広島湾周遊」と「ウォーキングの会」を、懇親会として「西条酒まつり・マスターズ懇親会」を企画しました。旧交を温めるもよし、新しい交友を結ぶことももっとよし、奮ってご参加ください。

西条酒まつり・マスターズ懇親会

東広島市が誇る全国的イベント西条酒まつりは、今年も 10 月 11 日（土）、12 日（日）の両日、JR 西条駅前周辺で開かれます。わがマスターズもその初日の夕べ、恒例の懇親会を開きます。ぜひご出席ください。

日 時 10 月 11 日（土）17 時 30 分～2 時間程度

場 所 ふく政（西条町岡町 6-5 TEL082-424-5700）

ホームページ(<http://fkweb.jp/profile.html>)

西条駅より旧山陽道沿いに西へ徒歩 5 分

会 費 7000 円 {当日徴収}

※ 参加を希望される方は、10 月 1 日（水）までに、
中川平介（naka1524@enjoy.ne.jp）まで
ご連絡ください。



広島大学附属練習船「豊潮丸」による体験航海

(第16回広大マスターズ例会)

社会貢献事業としての体験航海に広島大学マスターズのメンバーの乗船が許可されました。内容は以下のとおりです。多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

実施日：10月20日(月)

主催：練習船豊潮丸

日程：10時までに、広島大学生物生産学部附属練習船基地(呉市宝町7-4)
(下図・駐車場はあります)に各自集合

10時10分～50分 呉基地で豊潮丸の概要説明

11時 呉港出港

11時20分～40分 注意事項、船内ガイダンス

11時40分～12時 乗船者全員による防火・防水・避難訓練

12時～13時 昼食(各自持参)

13時～14時15分 広島湾中部(西能美島西海域)にて海洋観測・船橋説明

14時30分～15時 希望者による機関室見学

16時 呉港着

募集人数：広島大学マスターズ会員、家族および知人等21名以内。希望者多数の場合は先着順とします。

申込方法：平成24年10月6日(月)までに、参加者の住所、氏名、性別、緊急時連絡先(ご家族の住所)を記載して、Eメールまたは郵送で中川平介までお申し込みください。

(E-mail) naka1524@enjoy.ne.jp

(郵送先) 〒739-0034 東広島市西条町大沢 881-2

経費：保険料1人500円、弁当持参



練習船基地：JR呉駅より徒歩約15分、
タクシー約5分

第4回広大マスターズ・ウォーキングの会

(第17回広大マスターズ例会)

会員やご家族の健康づくりのためふるって参加しましょう。

日 時： 11月15日(土) 9:00~12:00
集合場所： 鏡山公園入り口付近(午前9時)(図を参照)
コース： 東広島市内「鏡山公園コース(体力別班編成)」
内 容： 健康体操、筋力トレーニング法、歩行姿勢、バランステスト
参加費： 200円(保険料含む。)
その他： 運動可能な装備、補助食、
飲料など各自ご準備ください；
小雨決行

※ 参加を希望される方は、
11月1日(土)までに、
渡部 (kazuwp@hiroshima-u.ac.jp)
までご連絡ください。



2. 規約改定について

第9回総会(平成26年6月7日(土))；泉ホール(賀茂泉館4階)において、
下記の規約改定が諮られ可決しました。

第5条 運営

【現行】 本会は、正会員のうちから代表幹事及び幹事(若干名)及び監査
(2名)を選任し、運営にあたる。必要に応じて会長、顧問を置くものとする。
任期は2年とし、再任を妨げない。

【改定】・・・必要に応じて会長、顧問、参与を置くことができる。・・・

第6条「出資金」

【現行】出資金 正会員は、一口(1万円)を出資する。出資金は返却しない。

【改定】入会金 正会員は、入会金(1万円)を納入するものとする。

第8条 事務局

【追加】郵便物の送付先は、[〒739-8601 東広島市西条栄町8-29
東広島市市民協働センター 広大マスターズメールボックス]とする。

(改訂した会則の最新版は、広大マスターズ ホームページ「会員版」
<http://home.hiroshima-u.ac.jp/masters/> をご覧下さい。)

3. 広島大学の教育事業に本年度も参加しています

(1) 平和科目「平和と人間A」および「平和と人間B」について

前期：平和と人間A－人間と生物の未来へーは終了しました。

158名の受講登録があり、うち1名が休学しました。授業最終回(第15回)に、学生たちに授業全体を通しての感想や改善点等を書いてもらいました。総括すると、「平和と人間A」のオムニバス形式の授業内容に満足している返答が大半を占めました。改善点についての希望としては、大きな声でとマイクを使って欲しいとの要望がありました。今後に生かしていければと思っていますところです。(松田治男記)

後期：平和と人間B－人間と文化の未来へー

この科目は主に倫理、文化、教育の方面にウェイトをおく。近代科学と産業はめまぐるしく発達する一方で、科学、技術を使用する人間のモラル(倫理意識)が問われている。人びとは国家の論理に翻弄されながら自らの生き方を問い、相手国に住んでその苦難を経験し、なお平和の生活を切望している。また芸術やスポーツをはじめ政治や貧困の理解を通して、国境を超えた人びとの連帯を考える。

<講義目次>

(1) ガイダンス 授業の狙いと講師の紹介(松田治男)、(2) 21世紀に求められる科学技術(松田治男・元生物圏科学研究科)、(3) 広島で被爆して平和を考える(植木研介、広島大学マスターズ広島)、(4) 広島投下の原子爆弾の構造・威力・被害と放射線障害(松田正典)(5) 松原美代子さんからの平和のメッセージ(三浦省五)、(6) 環境から見た人類の生長とその限界(安藤忠男)、(7) バイオテクノロジーと食の安全(池上晋)、(8) バイオテクノロジーと生物多様性(池上晋)、(9) 現代哲学と平和(金田晋)、(10) 戦争と記憶-比治山に眠るフランス兵士(原野 昇)、(11) 日系アメリカ人をめぐる戦争と和解(山代宏道)、(12) 平和とスポーツの祭典とオリンピック(渡部和彦)、(13) 平和と美術(難波平人)、(14) 平和と国際政治(岩田賢司)、(15) 貧困・感染症・国際協力(松田治男)

(2) 留学生短期研修講座について

広島大学は近年留学生を増やすために努力している。大学が国際的になる一つのバロメーターになるからだ。2014年5月現在、留学生数1000人強。浅原学長は倍増を目指している。いろいろな方策を立てているが、その一つに、外国人留学生を対象に2週間ほどの日本語・日本文化短期研修の講座を冬と夏に開催して、広島大学を知ってもらい、広島大学で学ぶことの意義を実感してもらう企画を実施してきた。世界の優秀な学生が、広島大学で教育を受け、み

ずからすぐれた研究を行うようになってほしい、それがこの短期研修の狙いである。

今夏も、広島大学日本語・日本文化特別研修が開催された。これまでは台湾クラス(7月9日～7月22日)、中国クラス(7月22日～8月4日)の2クラスであったが、今夏はアジア非漢字圏クラスが加わった。台湾クラスの参加学生は28名(男6名、女22名)、中国クラスのそれは37名。マスターズからは、広大教育・国際室からの指名で、両クラスとも日本文化論の一環として、(1)金田晋「日本の絵画—絵巻物の世界(鳥獣戯画甲巻を見る)」、(2)渡部和彦「日本の伝統スポーツと礼—武術から武道へ(剣道の演技あり)—」の講義がそれぞれ1回(90分)行われた。講義は日本語で行われた。学生は自国の大学で日本語を学習していて、語学力の差はあるようであったが、授業についてこれないという様子ではなかった。

今夏の新しい試みは、アジア非漢字圏クラスの開講であった。参加学生36名。内訳は、インドネシア(ダルマ・プルサダ大学、ブラヴィジャヤ大学)、ベトナム(人文社会科学大学)、インド(ティラック・マハーラーシュトラ大学)、マレーシア(マラヤ大学)、モンゴル(ウランバートル大学)の5か国6大学に及んだ。男10名、女26名。引率教員1名。インドは、いずれも30歳台、大学院ディプロマ。日本語学力抜群。逆にモンゴルは若い学生が多く、おそらく飛び級で進学したのであろう、16歳のじつにフレッシュな女子学生もいて、彼ら、彼女らは1年ばかりの日本語学習を経てやってきた。全員それぞれの大学の、文学部や日本語学科で日本語を学んでいる。

留学生の特別研修の一層の充実のために、マスターズも応援したい。

(金田 晋記)

(3) 韓国留学生への理科予備教育について

日韓共同理工系学部留学生事業によって広島大学に入学する韓国留学生のための入学前予備教育(理科)に、平成23年度から講師を派遣しています。本年度も、10月から12月の期間に、数学、物理、化学、生物の理系4科目が開講(各科目とも週1回90分で10回の講義)され、広大マスターズは数学(今岡光範会員)と化学(谷本能文会員+平田敏文会員)を担当する予定です。

この理科予備教育の目的は、留学生が入学後、それぞれの専攻の専門科目の講義を受ける際に困らないように、理科の学力(日本の高校レベル)と日本語力(学術用語や表現)を身につけることにあります。一般的に、韓国の理科教育は内容・質ともに日本の高校教育とほとんど同じであり、留学生の理科の学力は極めて高いので、理科科目の内容面での予備教育はほとんど不要です。そこで、理科予備教育では、日本語の学術用語や表現について解説し、さらに最新の科学のトピックなども紹介して、留学生が将来の進路に対するモチベーションを高めてもらいたいと思っている。(平田敏文記)。

4. マスターズが企画・共催の「東広島市民講座」が始まっています

平成26年度市民講座（東広島市教育委員会主催、広大マスターズ企画・共催）が始まっています。私たちにも関心のあるテーマが並んでいます。友人・知人をお誘いになって、奮ってご参加ください。（原野 昇記）

（後期）

3 「はじめてのイタリア語」（講師：古浦敏生）

講座概要：pizza（ピザ）などの発音の仕方から始めて、文法の初歩を学び、イタリアに到着したらすぐに役立つ会話へと進みます。日本語とイタリア語との差異や類似点にも注目しましょう。

日程：（すべて火曜日 13:30～15:00）10月7日、10月21日、11月4日、11月18日

会場：市民文化センター研修室（サンスクエア2F）

4 「身近に日本刀を楽しもうー日本の伝統美に触れるー」（世話係：清水迫章造）

講座概要：日本古来の伝統工芸品としての日本刀の魅力と楽しみ方を学ぶ講座です。日本刀の扱い方や手入れの仕方から鑑賞のポイントなどについてみなさんと楽しみながら進めます。

日程：（すべて 13:30～15:00）

第1回：11月8日（土）「日本刀の世界」箕浦伸恭（日本美術刀剣保存協会広島県支部長）

- ・日常使用している刀から生まれた言葉や刀の扱い方、作法
- ・歴史と日本刀の変遷など

第2回：11月15日（土）「日本刀が出来るまで」三上孝徳（日本美術刀剣保存協会広島県支部理事、全日本刀匠会会長）

- ・たたら製鉄、鍛え、焼き入れ、銘切りなど

第3回：11月22日（土）「刀剣の美学」（金田 晋）

- ・日本刀が世界の美術工芸品として評価され愛好されていくために・・・

第4回：11月29日（土）「日本刀鑑賞のポイントと広島県の郷土刀」西本直彦（日本美術刀剣保存協会広島県支部副支部長）、石岡清秀（日本美術刀剣保存協会広島県支部副支部長）

- ・鑑賞マナーと手入れや刀剣の美の楽しみ方
- ・備後と安芸の郷土刀紹介、特徴など

会場：市民文化センター研修室（サンスクエア2F）

5 「不思議な自然界」（世話係：井上宣邦）

講座概要：私達を取り囲んでいる自然界は実に不思議な世界です。その中に私たちは住んでいますが、今回はこの不思議な自然界の一部を解かりやすく説

明します。

日程：2015年1月（すべて13:30～15:00）

第1回：1月10日（土）「熱を制するものはエネルギーを制する」（菊地義弘）

第2回：1月17日（土）「未来を見据えた、水素の贈り物」（藤井博信）

第3回：1月24日（土）「プラズマがつくる新表面」（中佐啓治郎）

第4回：1月31日（土）「分子の世界」（塩谷 優）

会場：市民文化センター研修室（サンスクエア2F）【予定】

※ 申込み・問合せ：東広島市教育委員会生涯学習課

TEL/082-420-0979 FAX/082-422-1610

※ 参考：http://www.geocities.jp/hirodai_ob/shiminkoza/shiminkoza.html

5. ちゅーピーカルチャーセンターに講師派遣をしています

広大マスターズでは広島大学の知的財産を、東広島市の地域に還元し活かしていく事が大切なことであると考えています。本年度は、広大マスターズからの講師派遣によって次の4件のレギュラー講座（3カ月毎に更新する講座）が開講されています。（井上宜邦記）

【楽しいフランス語（入門）、講師：原野 昇】（9月で終了）

【水彩・油絵、講師：難波平人】

【近代美術の世界～印象派・ゴッホ・セザンヌ等～、講師：金田 晋】

【地球の不思議～東広島の大地に親しむ～、講師：沖村雄二】

6. その他

（1）市民組織「広大マスターズ友の会」が設立されました。

「広大マスターズ」が、地域との連携・協力活動の一環として行っている、市民講座・出前講座等に学ぶ方々を中心に構成する市民組織、「広大マスターズ友の会」が設立されました（平成26年8月23日、会場：東広島市中央生涯学習センター）。「友の会」設立記念講演として、難波平人会員による「世界の美術紀行」と題する講演が行われた。

「友の会」の主たる目的は、“広大マスターズが主催・共催する事業に参加することにより、会員の学びの場を広げていくこと”です。設立総会の後、記念講演に先立ち、広大マスターズ会員・幹事も参加し、懇親食事が盛会に行われた。

「友の会」会員は、約60名。（渡部和彦記）

(2) 「地域課題研究懸賞論文」の審査事業について

東広島市学園都市づくり交流会議が主催する「地域課題研究懸賞論文」の審査を広大マスターズ幹事5名が担当して6年になります。地域の課題を対象にした未発表の研究論文なら（長さ、形式自由）、市内の大学に所属する院生・学生・研究生は誰でも応募できます。今年度の応募締切は平成27年1月30日で、最優秀論文の賞金は20万円です。広大マスターズ会員の皆様から、地域の課題を研究している学生・指導教員に紹介していただくと幸いです。

詳しくは、東広島市のホームページ：

(<http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/soshiki/6/daigaku-gaiyo.html>)
をご覧ください。(安藤忠男記)

(3) 広島大学古本募金「Book cycle ～ヒロガル x ツナガル～」について

広島大学古本募金とは、提供のあった書籍類（書籍・DVD・CDなど）の売却代金を寄付金として広島大学基金に受け入れ、広島大学の学生支援に役立てるプロジェクトです。詳しくは、ホームページ：

(<http://www.furuhon-bokin.jp/hiroshima-u/>) をご覧ください。

(4) マスターズ会員は、広大図書館で複写サービスを受けられる。

広島大学図書館では、広大を退職しても「広島大学図書館利用登録証」の発行を受ければ、書庫への入室、各種文献等の閲覧、借用が可能である。だが同図書館にない書籍、雑誌等については、退職すると、現職時とちがって、科研費受給の場合を除いて、それを所有する図書館等に複写を依頼したり、文献等を送ってもらって、複写したりする「複写サービス」を利用することはかなわなかった。

だが広大マスターズは教養教育や留学生教育、さらに市民への生涯学習事業への貢献が認められ、その会員になるとこの複写サービスを受けることができる（本「通信」第22号、2012.5.1発行にも掲載）。活用しようではないか。図書館窓口でその旨申し出ればよい。（金田 晋記）

【広島大学マスターズ事務局】

事務局：サンスクエア東広島3F 広島大学サテライトオフィス内
（郵便物宛先）〒739-8601 東広島市西条栄町8-29
東広島市市民協働センター内 広大マスターズメールボックス

Eメール：masters@hiroshima-u.ac.jp

URL：

（会員版） <http://home.hiroshima-u.ac.jp/masters/>

（かわら版） http://www.geocities.jp/hirodai_ob/index.html